



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.43

Edition April 11th, 2017

スポーツアコード総会

名称変更「GAISF」へ

4月2日(日)から1週間、2017年スポーツアコード総会がデンマークで開催され、WKFを代表してエスピノス会長と共に出席しました。

スポーツアコードとは、あらゆるスポーツ関連団体が加盟する世界最大級の集合体であり、年1回コンベンション(国際会議)を開いています。

今年は71の国と地域から100をこえる国際競技団体が一堂に会し、代表740名が各種会議に出席しました。事前合宿等スポーツ行事の招致活動をしている自治体が135団体、2024年オリンピック候補都市であるパリとロサンゼルスの関係者等も集まりました。

本年のコンベンションでは、総会でスポーツアコードの名称を2018年よりGAISF(ガイスフ= The Global Association of International Sports Federations)へ変更することが決定したほか、**東京オリンピック追加種目に採用されたことで、WKFが夏季オリンピック種目の連合体であるASOIF(アソイフ)準会員に認定されました。夏季オリンピック種目コミュニティの一員となったことで空手のプレゼンスはいっそう高まったと言えます。**

IOCの方針

コンベンション期間中にはIOC/各団体との合同会議があり、**2018年ユース・オリンピックと2020年東京オリンピック**を最重要行事と位置付ける方針が発表されました。幸い空手は両大会で種目採用されており、IOCからも一般社会からも注目されるチャンスと言えます。



右から国際ワールドゲームズ協会師岡文男理事、スポーツアコードのパウマン会長(国際バスケットボール連盟事務総長)、奈藏、国際剣道連盟佐藤征夫事務総長、コンベンション会場にて。

IOC内では現在、2020年東京オリンピックで実施する競技の「種目の内訳」を検討することが実務上最大の議論となっているとのことでした。例えば「柔道に団体戦を新設するかどうか」といった検討がこれにあたり、空手は既に形2種目と組手6種目が決定しているので該当しません。

直近の感触では、今年9月のIOC総会において空手の2024年種目採用が決まる可能性は極めて低くなっています。したがって、IOC総会以降、開催都市による追加種目提案に向け、パリまたはロサンゼルスとの交渉に焦点を当てることとなるでしょう。スポーツアコードでの招致プレゼンテーションを見る限り、両都市とも甲乙つけがたく接戦の様相でした。展開が注目されます。

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔 入

世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp